第70号　発行日：2017年3月27日
区議団控室:〒164-8501 中野区中野4-8-1　TEL:3228-8873　FAX:3389-8657　自宅:〒165-0026 中野区新井2-33-9-301　TEL&FAX:6321-5397　発行:日本共産党　中野区議会議員　浦野さとみ

日本共産党 中野区議会議員 浦野さとみの区政報告

ほっこり通信 No.70

何でも無料生活相談実施中！
e-mail：urano@jcp-seven.jp
携帯電話：090-8049-4784

●ホームページ
浦野さとみ　検索
●Twitter：@urano_satomi
●Facebook：浦野さとみ

聞かせて、あなたのこと、街のこと

中野駅周辺大規模再開発
約200mの超高層ビル、1万人アリーナ
本当に必要？

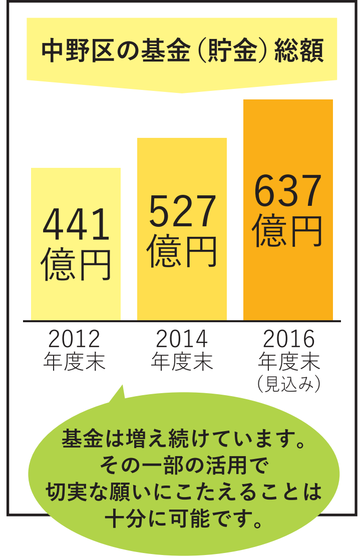
区は、新年度以降も、中野駅周辺の各地区の再開発事業を粛々と進めようとしています。しかし、中野駅の橋上駅舎と西側南北通路の整備は、駅ビル建設を行うJR側からの回答がまだ示されておらず、中野3丁目地区整備についても、不法に占有しているタイケン学園との裁判の判決の見通しも立っていない状況です。さらに、区役所・サンプラザ地区については、今議会の中で、区役所の位置を現体育館の場所に変更する議案が出され、自民・公明・民進党等の賛成で可決。区民財産である敷地を開発事業者に売り渡そうとしています。約200m近い超高層ビル、1万人規模のアリーナが本当に必要なのかどうか、このことについても区民参加での十分な議論が必要ではないでしょうか。

▲事業協力者が作成した提案概要書より

▲2/20 党区議団を代表して本会議一般質問

区民の切実な願いにこたえて

中野駅周辺の再開発等には、お金をつぎ込む姿勢はあらためるべきです。毎年、増え続けている区の基金（貯金）総額は2016年度末で637億円になる見込みです（グラフ参照）。その一部の活用で、区民の皆さんの切実な願いにこたえることは十分に可能です。精神障害者福祉手当の実施、就学援助費の新入学学用品費の引き上げ、区立小中学校のトイレの洋式化および特別教室の冷房化を早期に進めることについて、あらためて今議会の中でも取り上げ、実施を強く求めました。



東日本大震災・原発事故　6年目の3・11

中野区内の都営住宅にも、福島県等から避難されてきた方が生活をされています。白鷺1丁目の都営住宅もその一つですが、この集会室で行われた「3.11のつどい」に参加させていただきました。

全国では、今も12万3168人の方が避難生活を続けています（2月13日復興庁まとめ）。住宅再建も地域再建もまだまだこれからです。しかし、国は「復興費用は全額国が負担する」という約束を破り、2016年度から被災自治体に一部負担を押し付けています。被災者支援策、復興策の打ち切り・縮小は許されません。これまで年2回程、計10回に渡り、多くの皆さんのご協力のおかげで、被災地支援を続けることができました。あらためて感謝申し上げるとともに、これからも中野からできることを皆さんと一緒に続けていきたいと思います。

▲2011年5月

▲2013年1月

（写真はいずれも宮城県石巻市内にて）

2・18 春をよぶつどい

毎年恒例の春をよぶつどいを今年は中野サンプラザにて開催しました。私からの区政報告に加え、植木こうじ都議からの都政報告、吉良よし子参議院議員からの国政報告を行い、ご参加の皆さんからも様々なご要望やご意見をお寄せいただきました。会場いっぱいに席が足らなくなる程の多くの方にご参加いただき、本当にありがとうございました。

引き続き、お一人お一人の声を真っ直ぐ届けながら、切実な願い実現へご一緒に力あわせ全力を尽くします。

▲吉良よし子参議院議員

▲会場いっぱい、ありがとうございました

INFORMATION

区議会定例会のお知らせ（予定）

6月1日（木）～6月15日（木）

区役所3階、区議会事務局にて手続きを行えばどなたでも傍聴できます。ぜひ、お出かけ下さい。

- ●本会議：6/1、2、5、15
- ●常任委員会：6/7、8、9
- ●特別委員会：6/12、13

ほっこりコラム

各地域のお餅つきには可能な限り参加をさせていただいております。ここ数年、だいぶ上達(!?)しました。

浦野さとみプロフィール

1980年9月生まれ（36才）・千葉県松戸市出身。2003年千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒（作業療法士）、中野共立病院・リハビリ室へ入職。2008年リハビリ室主任。2011年に8年間勤めた病院を退職し、区議会議員選挙立候補、初当選。2015年2期目当選。現在、厚生委員会委員長、区役所・体育館整備調査特別委員会委員、都市計画審議会委員、区議団副幹事長。趣味：竹富島・ゆずのライブへ行くこと、ソフトボール、野球。

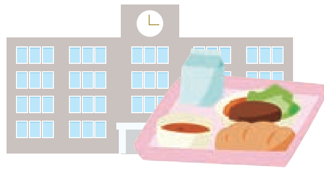
＼予算組み替え動議を提出／

アベノミクスのもとで格差と貧困がひろがり、社会保障の切り捨てが進む中、身近な区政の役割は一層、重要となっています。日本共産党区議団は、中野駅周辺や平和の森公園再整備など区民合意のない大規模再開発は見直し、区が貯めこんでいる基金（貯金）の一部を活用し区民の切実な要望に応えるべきとし、区が示した予算原案の撤回と再提出を求める「組み替え動議」を提出しました。

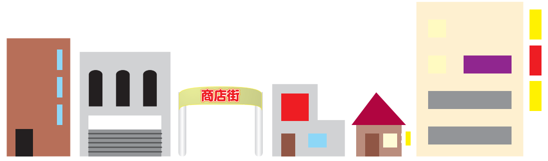
▼組み替え項目▼

実　施
○小中学校給食費無償化
○国民健康保険臨時給付金
○防災対策強化（木造住宅耐震化助成、感震ブレーカー設置補助等）
○がん検診無料化
○商店リニューアル助成
○精神障害者福祉手当実施　等

見直し
○区立保育園民営化
○平和の森公園再整備
○中野駅周辺再開発　等


小中学校給食費無償化

防災対策強化



商店リニューアル助成

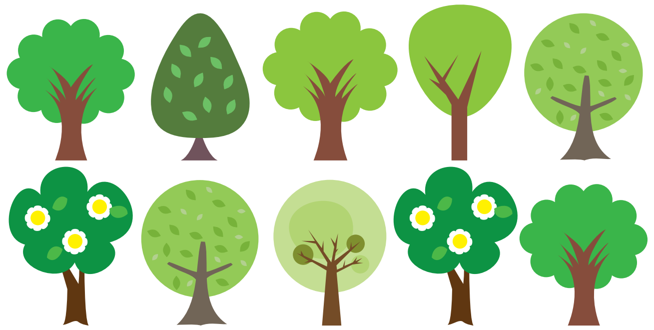
Q 予算組み替え動議とは・・・

予算原案を撤回して、修正してから再提出することを求める動議。国会等でも行われています。

＼緑とひろばの平和の森公園を守れ／

区の情報開示は不十分

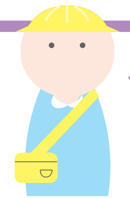
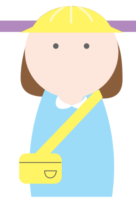
今回、緑とひろばの平和の森公園を守る会メンバーが「中野区情報公開・個人情報保護審査会」に審査請求を提出。その答申書では、中野区が不開示とした公園整備等の経費に関わる情報等を黒塗りにした大半の部分について、「全面開示すべき」という判断が示されました。これは大変に重い結論であり、区が不開示（黒塗り）とした決定には誤りがあったことを示すものです。区は、答申に従い開示しましたが、本来、開示すべき情報を開示せずに再整備計画を推し進めてきたことは大きな問題です。



約200本の樹木伐採、300mトラック、バーベキューサイトまで・・・

区が進めようとしている平和の森公園再整備計画については、計画そのものがこれまでの歴史的な経過にも反し、また、議会や区民への情報提供のあり方にも問題があること等、繰り返し指摘し、質してきました。何よりも、「緑とひろばは今のままに」という多くの声に、背を向け続けている姿勢はあらためるべきです。

▲いつでも、誰でも、自由に利用できる草地広場は大きな魅力

＼深刻 保育園待機児童／

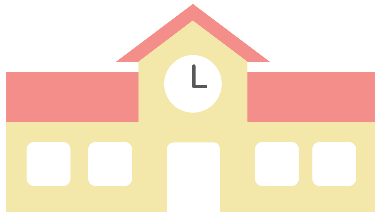
1次募集で933人が不承諾に

全国、そして、都内でも深刻な問題となっている保育園待機児童問題。中野区でも、「待機児童解消」を掲げ、2016年度においても認可保育園など約1000人の定員を増やすとしてきました。しかし、実際に開設が決まったのは約330人分（5ヵ所）のみにとどまりました。

2017年4月入園のための第1次募集には、2198人（前年比104人増）の応募がありましたが、そのうちの4割を超える933人が不承諾（前年比137人増）となりました。2次募集によってなんとか入園できた方もいますが、前年以上に待機児童が出てしまう可能性が高い状況です。

自治体として公的責任の役割発揮を

他区では、直営の区立保育園開設や保育士を新規に80人近く採用する等、積極的な取り組みが行われています。緊急対策本部等を組織し、大幅な定員増を実現した自治体も数多くあります。一方、中野区は基本的には事業者任せであり、加えて、今後、全ての区立保育園を民営化する方針も変更せず、公的責任を放棄する姿勢です。自治体として、公的責任をしっかりと果たすことこそ求められています。



区民の大事な情報　正規職員できちんと対応を

中野区元臨時職員逮捕

1月11日、中野区の元臨時職員が当時、勤務していた部署において、区民の個人情報を不正に取得した上で、住居侵入を図った疑いで逮捕されました。絶対に許されることではありません。区は再発防止策として、監視カメラの設置、パソコン使用記録の管理、研修強化等を行っていくとしています。

一方、区はこの期間、「小さな区役所」を目指すとし正規職員を大幅に削減。民間委託や臨時職員等の採用を進めてきました。今回、逮捕された元臨時職員が配属されていた戸籍住民分野にも、複数の臨時職員が常態的に配置されています。区民の大事な個人情報を日常的に扱う必要不可欠な業務であるなら、正規職員をきちんと配置すべきです。

また、中野区では事務に関わる臨時職員の時給単価は950円としており、都の最低基準（932円）と同程度です。「小さな区役所」という考え方を見直すとともに、臨時職員の雇用状況の改善も求められます。

○区職員数（推移）

15年前の約6割の職員数に。

2001（H13）年度	2006（H18）年度	2011（H23）年度	2016（H28）年度
3227人	2709人	2219人	1996人

※各年4月1日現在

裏面もご覧下さい▶